

安塚区地域協議会だより

発行日：令和4年3月25日

発行人：安塚区地域協議会 会長 松苗 正二

第33号

ごあいさつ

安塚区地域協議会
会長 松苗 正二



令和4年は新型コロナウイルス感染症が収束し、良い年でありますように、除夜の鐘に思いを込めましたが、叶わぬ日々が続いております。世界では、大国の一人の指導者が自分の思いだけで侵略を行っていますが、身勝手な行動に恐怖を感じえません。しかし、国際社会の影響もあり、存外な方向に進んでいるようです。人の思いは、事の大小を問わず、さまざまであり、単純には運ばないものと思います。

さて、当区では、今年度も地域活動支援事業に多くの方から応募があり、大切な補助金を活用して地域を盛り立てようと各種団体が活動されました。非常に使い勝手が良く、志のある団体にすぐに資金

が充てられるスピードの速さも魅力的な事業ですが、来年度が最終年度となる予定のようです。当市では、若い市長が当選され、市民は未来に芽吹きを感じ、これからの行政に期待しております。

個人の時の思いや言動と行政の「おさ」としての立場における思いとは、おのずと違いが生じるものと思います。今一度安塚の綺麗な空気やブナ林の新緑の中で思慮を重ねていただきたいと思う次第です。

自主的審議事項

「住みやすい安塚の

在り方について」

副会長 石田 ひとみ

安塚区地域協議会では、自主的審議事項として、「住みやすい安塚の在り方について」というテーマで協議を進めています。

地域の活力向上のために皆様の日頃感じていること、思っていること、今現在の安塚について、未来

の安塚への希望などについて、お聞きしたいと思っております。こんな安塚になってほしい、住みやすいと感じること、住みにくいと感ずることなど、何でも構いません。近々にこの自主的審議事項について、地域の皆様にアンケートを取らせていただく予定です。また、アンケート実施後は、意見交換会の開催も予定しております。

自主的審議事項についてのご理解とご協力をお願いします。持続可能なまちづくりに向けて力を合わせ、安塚区を育んでいきましょう。



令和3年度地域活動支援事業 採択事業の取組紹介(8事業)

安塚区における令和3年度地域活動支援事業は、地域協議会での審査の結果、8事業の採択となりました。

事業を実施した各団体の皆様から、それぞれの取組の内容等について、紹介いただきます。

地域の皆様からも、令和4年度地域活動支援事業の応募や今後の各種団体の活動にあたり、ご参考いただければ幸いです。



① 『横尾義智記念館管理事業』 (行野自治会)

ろうあ者で小黒村村長を12年間務め、長年ろうあ運動に奔走した偉人横尾義智氏。その功績は計り知れず、偉業顕彰のため、平成11年に横尾家の年貢蔵を横尾義智記念館として開館しました。

令和2年に遠方のろうあ来館者から記念館の場所がわからないとの申し出があり、加えて建物の老朽化から入口の土壁が崩れて危険な状態でした。

今回、地域活動支援事業を活用して、記念館前に分かりやすい看板を設置するとともに、入口の壁の補修を行い、確実な案内と安全な見学ができるようにさせていただきました。

これからも行野集落を挙げて、ろうあ者との交流を継続し、郷土の偉人横尾義智氏の偉業を伝えてまいります。



② 『安塚Jエアルペンスキー クラブ育成事業』 (安塚スキークラブ)

安塚スキークラブでは、これまでにもご支援をいただきながらジュニア育成に取り組み、今年度は、更なる強化を図るために練習環境を向上させてジュニア選手への指導を展開してまいりました。

長年のご支援の成果が実り、今年度は、全国中学校スキー大会へ2名が出場し、久々の快挙を成し遂げるこ



とができました。これもひとえに、地域の皆様のご支援とご協力、そして応援をいただいているお陰です。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

なお、クラブでは、老若男女問わず、随時会員を募集していますので、興味がある方はお気軽にお声がけください。

③『やすづか「小さな祭り」
開催事業』
（「小さな祭り」実行委員会）

安塚区の地域の魅力を広く外部へ発信するとともに、地域の皆様にも再確認してもらうことを目指して、「お盆の灯ろうまつり」と「ユキノハコ秋まつり」を開催しました。地域の皆様から多くのご協力をいただき、たくさんの牛乳パックの灯ろうを飾ることができました。まつりの当日は、手づくりのやさしい灯りによって会場全体が幻想的で美しい雰囲気になりました。また、それぞれのまつりの開催にあわせて安塚のいいところ写真展も実施しました。

コロナ禍ではありましたが、多くの方に来場いただき、安塚区の魅力を知っていただく良い機会となりました。雪のまちみらい館や新しくできたユキノハコを訪れてもらうきっかけづくりにもなったと考えられています。



④『高齢者にこころ
サロン支援事業』
（上方自治会）

上方自治会では、高齢者の健康づくりと生きがいづくりを目的として、「にこにこサロン」を年6回実施しています。今年度の地域活動支援事業で「ポッチャゲームセット」を購入することができ、大変有意義に活用しています。ポッチャゲームは、2つのチームで赤青それぞれ6個

ずつのボールを白の目標ボールに向かって投げ合うゲームです。チームをつくって競技することでゲームが盛り上がり、会員同士の間が思いやりを育むことができました。体と頭を適度に動かすことで心身の健康を維持促進することにつながっています。



⑤『天空の里づくり推進事業』
（朴の木自治会）

秋、棚田広場から見渡す柳葉ひまわりの花が満開の10月10日（日）

に一般公開した朴の木「天空のお花畑」は天候に恵まれ、予想を超えて約400人の来場者がありました。春から集落を中心に、地元の小・中学校の児童、生徒やボランティアの力を借りて整備してきた本事業は、関わって下さった皆様のおかげで無事に終わることができました。

改修した柳葉ひまわりが描かれた集落看板は、区外から来られたお客様にも大変好評でした。コロナ禍により、残念ながら棚田カフェは今年度も実施できませんでしたが、来年度も仲間と一体感を持ち、引き続き取り組んでいきたいと思えます。



⑥『山のうえの雪まつり事業』
(山のうえの雪まつり)

実行委員会

今年度も地域活動支援事業を活用し、「山のうえの雪まつり」を開催いたしました。

昨年同様、コロナ禍での開催となつたため、やりたい事が全てできたわけではありませんが、当日は多くの来場者があり、盛大に開催できたと思っております。

この事業は安塚の地域資源であるスキー場を盛り上げ、そしてこの地域に多くの人から足を運んでもらいたいという思いで活動しているものです。

安塚キャンドルロードもコロナ禍で規模が縮小し、今後収束したとしても、今までのようにはいかないと感じています。私たちの活動と住民の皆様との共闘がこの地域の未来を作る一助となるべく、今後も活動していきたいと思えます。



⑦『ジュニアバレーボールの普及及び青少年健全育成事業』
(安塚大島レッドウィングス)

地域活動支援事業の取組として、日々の定期練習、バレーボールの体験会の開催や各種大会への参加、チームの広報活動などを行ってきました。

今回、地域活動支援事業を活用し、新しいユニフォームと横断幕を購入させていただきました。

子どもたちの頑張りもあり、県大会への出場、2大会での優勝と輝かしい成績をおさめることができました。さらに、新しい仲間もチームに加わり、来年度も精力的に活動し

ていきたいと思っております。これからも安塚大島レッドウィングスの応援をよろしくお願いいたします。



⑧『自然王国ほその村・四季彩散策(巡り)事業』
(細野町内会)

自然王国ほその村は、「六夜山荘」を核にした村づくりを行っていますが、一昨年からは新型コロナウイルス感染症などによって、人の流れが

変わり、来客が途絶えてしまいました。このことは、細野にとつて物人、金、情報の流れが止まり、地域一貫経営ができなくなることを意味します。

この状況から脱却するために何をすべきか話し合い、自然や棚田、雪、人を有効活用し、四季を通じて集客の安定を図ることにしました。

ほその村に来た人たちが新緑や紅葉の景色など安心して自然散策を楽しめるコース設定、星空や自然の中で夜を過ごすキャンプ等、実施したアウトドアの体験提供の取組はどれも好評でした。

